

変革型リーダー人材育成のための【伴走型】 オンライン選抜型研修

心理的安全性の高い職場をつくり、且つ変革をリードできるマネジメントとは
[他の組織の職員と共に学ぶ公開型講座]

マネジメント力向上講座

- 開催日：
第10回 2025年7月23日（水）
第11回 2026年2月 4日（水）

- 対象者：
 - 課長補佐級職員の方々
 - 係長級職員の方々
 - 女性管理職候補・リーダーの方々
 - 監督者選抜の方々

本講座の開催背景

本講座の開催背景

我々の社会を取り巻く環境変化は、DX対応、SDGs対応、人口減少、価値観の変化など激変してきています。それに伴い、社会情勢は益々多様化、細分化、高度化してきており、その変化に素早く対応していくことがどの組織においても必要になって来ています。

しかし、そのような変化に対応していくには、組織の変化対応力、人材の学習能力、連携力など「人材力」と「組織力」が求められます。今後、日本全体の人口減少の影響により人材不足が益々深刻化されることが予想されます。また、財政的にも多くの組織で厳しくなる傾向にあります。そのような中、限られた資源（人・もの・金・情報・時間）を有効に活用し、魅力的なサービス、変化に適応した組織、人材の育成が実現される魅力ある組織、柔軟な組織を創り出すことが必須になっています。

ただ、社会変化がこれまでないほどまで激しく、期待される基準が高まってきたためにこれまでのやり方を大きく変えなくてはならない現状にどの組織も直面しています。その現状を打破し、組織変革をリードして組織づくり、人材づくりをしていくには「**変革型リーダー人材**」が必要になっています。

変革型リーダーには「リーダー機能」と「マネジャー機能」の両輪が必要になります。まずリーダー機能とは向かうべきビジョンを示し、その実現のための目標に向かって組織を束ね、自発的にメンバーの方向性を定めたり導いたりしながらメンバーのモチベーションを上げる機能のことです。それとは別に、マネジャー機能とは分析や管理を行い、目標に向けて組織の活動を行うがす機能のことを言います。組織に変革を起こそうとするとときに、組織とそのメンバーは変化に抵抗する傾向があります。その抵抗問題を乗り越え組織をリードする人材（変革型リーダー人材）に求められるマネジメントは、「リーダー機能」と「マネジャー機能」の使い分けによる組織変革力です。

本講座では、この組織変革力を高めるためのマネジメントスキルを磨くことを目的に開催致します。この講座を通じて変化の時代の中で心理的安全な職場・組織をつくりつつ、且つ変革にチャレンジする力強い組織を率先して創り出すことのできるリーダー人材の育成に貢献していきたいと考えております。是非、ご参加をお待ちしております。

マネジメント力向上講座

本講座の目的

心理的に安心・安全な組織を創りつつ、且つ新たな課題に挑戦的にチャレンジし続けることのできる組織を創るために職場のリーダーとして必要な組織変革力を高めるマネジメントスキルを学習することを目的とします。

本講座の目標観

1. 変革型リーダー人材が求められる背景について理解する。
2. リーダー人材に求められるマネジメントスキルについて学ぶ。
3. 組織・職場変革をリードする変革リーダーシップを磨く。

コンセプト

変革型リーダー人材 (変革マネジメント)

リーダー機能

- ・バックカスティング思考
- ・ギヤーチェンジ型
- ・適正なことに取り組む
- ・非直線的・高次的・変革・革命
- ・選択肢創造・企業家的

ビジョン構築力

仮説立案力

内外の巻き込み力

変化の管理力

マネジャー機能

- ・フォワカスティング思考
- ・処理型
- ・物事を適正に処理する
- ・直線的・一時的・改善・矯正
- ・選択肢制限・業務遂行的

仕事の管理・改善

部下の指導育成

対人影響力

職場環境づくり

スケジュール 9:30～16:30		研修形式
09:30	オリエンテーション ・本講座の目的・目標観・進め方 ・ご参加者自己紹介	講義形式
10:00	「リーダー人材に求められるマネジメントスキルとは」 ・取り巻く環境変化を捉えて ・リーダー人材に必要な背景・求められるマネジメントスキル ・リーダー機能とマネジャー機能	講義形式
11:00	休憩	個人検討
	「変革のマネジメントに求められること」 ケース学習（組織変革を題材にしたケースに取り組み） （個人検討⇒集団討議）	グループ内 討議
12:00	解説	講義形式
	昼食休憩	
13:00	「リーダー機能について」 ①バックカスティング思考ができる ②チェンジマネジメントを推進できる ③成果思考でリードできる ④大志を持ってことにあたることのできる	講義形式
14:00	休憩	個人検討
	「マネジャー機能について」 ①仕事の管理と改善ができる ②部下の指導・育成ができる ③関係者との協働・交渉・調整ができる ④健全な職場環境づくりができる	グループ内 討議
15:00	休憩	講義形式
16:00	「職場課題の整理と今後の活動計画」 作成⇒発表	個人検討
16:30	まとめ	グループ内 検討

公開講座に対する考え方・参加者の声

公開講座に対する考え方

公開講座（他流試合）の目的は、他の組織で活躍する次世代を担うリーダー候補の方々との交流を通じて新たな知的刺激を受け、自己への気づきを広げて自己成長の機会とすることです。以下7つの場を提供いたします。

- ✓ リーダーシップの腕試しの場
- ✓ 他の組織の方々からの刺激と情報収集の場
- ✓ 新たな知識インプットの場
- ✓ 将来財産となる人的ネットワークづくりの場
- ✓ 新たな自己への気づきの場
- ✓ 変えるべきことの明確化
- ✓ コーチング・アドバイス

参加者の声（一部）

・職場のリーダーとして、職場変革をリードしていくために必要なマネジメントスキルを学習することを目的として研修を受講した。激変する行政環境変化に対応するためには、リーダーとして新たな仮説を打ち立て、新たな検証を行っていく必要性を感じた。いろいろな人をうまく巻き込みながら、正解らしきものを見つけていくことが、内部環境変化に対応できる組織作りにつながると思う。

・経営者の理念や戦略・ビジョンの中から、重点的に取り組むことを伝えるには、組織文化を打ち破るくらいの覚悟を持って取り組まなければ、事業の推進は図れまいと感じた。

・新型コロナウイルス感染拡大をはじめとし、目まぐるしく変化する社会情勢に対応するために、行政組織も変化を求められている。組織の変革のためには、監督者のマネジメント能力や、変革を進めるためのリーダーの役割が重要であるという事を感じた。

・組織の変革に取り組むのであるならば、トップの明確な戦略に基づいた課題を組織全体で共有し、しっかり理解したうえで取り組むことが必要であると学んだ。そして、その取り組みのためには、影響力を持つリーダーやマネジャーが必要であり、更にそのためには、若手職員の研修ばかりではなく管理職クラスの職員を対象とした研修こそ重要であるという事に気づいた。

・組織運営を行っていくうえで、様々なスキルを身につけて、体現する必要があることを再認識しました。久し振りにこのような研修を受けて、自分の今の立場（課長補佐）で学ぶことは、大きいなあと感じています。プレイヤーであり、マネジャーであり、また、トップに意見し、組織体制の見直しを図ることをしていく位置にいる事を痛感しています。少しずつでも取り組んでいけたらと思います。

講座概要

研修形式

- ・オンライン（Zoom）による個人参加
- ・ブレイクアウト機能を活用した集団討議
- ・講義・個人検討・集団討議・全体発表・相互アドバイスの組み合わせで行います。

講座の主な内容

- ①取り巻く内外の環境変化
- ②変革型リーダー人材とは
- ③ケース討議を通じて問題解決力を鍛える
- ④リーダー機能とは
- ⑤マネジャー機能とは
- ⑥職場課題の整理
- ⑦今後の活動計画の作成

展開ステップ

オンライン公開講座受講
（1日間）



活動計画書を完成後上司に
報告後提出



活動計画の取り組み状況
に関してコーチング面談
（受講者と弊社講師）

開催要項

開催予定日：

第10回 2025年7月23日（水）9:30～16:30

第11回 2026年2月 4日（水）9:30～16:30

- ・対象者：課長補佐級職員の方々、係長級職員の方々
女性管理職候補・リーダーの方々、監督者
選抜の方々
- ・実施方法：オンライン（Zoom）
- ・講師：(株)ビーコンラーニングサービス
代表取締役 近藤 雅人 他1名
- ・参加費用：1名 @ ¥33,000-（税込）
- ・申込方法：貴組織担当営業にご連絡をお願いします。